

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター
51		
※記入不要		
要望問題 ランの染色体数の調査		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>1 背景・内容 洋ランの栽培農家では、価格低迷により経営が苦しくなっている。その中で自分で育種しオリジナル品種を作成し、有利販売を目指す動きがある。交雑育種を行うには、交配する品種の染色体数がわからなくてはならない。 そこで染色体数を迅速に検査できる方法を研究してもらいたい。</p> <p>2 対象 JA湘南洋ラン部会 会員10名</p>		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生物資源部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	<p>染色体数の確認は、分裂組織を用いた顕微鏡観察がもっとも一般的で確実な方法です。 生産者による交雑育種では、複数の種や個体が想定されることから、育種母本としての利用を検討しているものについて、当所に設置されているオープンラボラトリーを利用し、染色体数のチェックや倍数性等把握するのが効率的であると思われます。 染色体数の観察方法などについては、必要に応じ職員が情報提供、技術指導をします。</p>
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	